

令和8年度事業計画書

1. 基本方針

気候変動の進行に伴い、温暖化抑制を目的とした脱炭素社会の実現に向けた取組（J-クレジット制度等）が社会的に注目される中、森林資源の利活用が一層推進されています。こうした状況において、森林資源の循環利用および適正な管理を行い、災害に強い森林を整備することの重要性は、これまで以上に高まっています。当財団では、従来より森林の有する公益的機能（水源涵養、CO₂吸収、防災、生物多様性の保全等）の維持・増進に取り組んでまいりました。今後も、非皆伐施業および針広混合林型の森づくりを推進し、生物多様性の保全や地球温暖化防止など、地球環境の保全・整備に貢献するとともに、「持続可能な森づくり」を目指し、林業振興および木材産業の発展に寄与してまいります。

以上を踏まえ、本年度は次に掲げる事業を柱とした事業計画を策定しました。

- (1) 森林の調査研究事業を行う。
- (2) 森林の普及啓発事業を推進する。

(公益目的事業)

2. 森林の調査研究事業

森林における自然環境の保全を基本方針とし、間伐等の施業と森林の自然環境との関係を明らかにするため、当財団所有山林を中心に、引き続き森林調査（材積、生長量等）を実施します。

これらの調査・研究の成果については、ホームページに掲載し、林業関係者、学校関係者および一般の方々に広く公開してまいります。

また、得られた研究成果を踏まえ、適切な時期における間伐（択伐）を検討・実施するとともに、環境保全の観点から、針広混合林化または複層林化への移行に努めてまいります。

3. 森林の普及啓発事業

(ア) 森林自然公園の整備、受入

森林自然公園へ広く受け入れるために、歩道の整備及びクイズの実施などにより、より多くの方々が「熊野の森」を利用し、親しめるように努めます。クイズ解答者には、粗品をプレゼントし、参加型の利用促進に努めてまいります。

(イ) 青少年健全育成事業（新宮警察との共同事業）

新宮警察署、新宮警察少年補導員との共催事業として、当地方の子ども達を中心とした健全育生活動を行うことで、森林を大切にすることをはぐくむ普及啓発事業を行います。

(ウ) 学習会、自然観察会、クラフト体験の実施

熊野の森林を中心とした学習会の実施、及び森林の自然にふれる観察会や木の素材を活用したクラフト体験等を行うことで、熊野の森づくりを推進し広く啓発してまいります。

(エ) 見学研修者の受入

当財団所有山林等への見学・研修者を受け入れるために特にホームページの充実を図って、積極的に受入を推進してまいります。

(オ) SNS 配信

令和7年1月より SNS で林業振興・普及啓発の周知に取組み、適宜イベント等の配信を行ってまいります。

4. 管理部門

6月に通常理事会及び定時評議員会を開催し、事業報告書（案）、決算書（案）などの審議検討を行います。

3月に通常理事会、必要により臨時評議員会を開催し、事業計画書（案）、収支予算書（案）などの審議検討を行います。

(収益事業)

基本財産を有効に活用し、収入の確保に努めます。

令和8年度 収支予算書
(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

公益財団法人熊野林業
(単位:円)

(単位:円)

科 目	R8年度予算額 (A)	R7年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
①財産運用益	55,000	250,000	△ 195,000	受取利息
②特定資産運用益	0	0	0	
③事業収益			0	
立木販売収益	0	0	0	
高圧鉄塔線下補償収益	1,400,000	1,570,000	△ 170,000	鉄塔補償料
④雑収入			0	
受取利息収益	5,250,000	0	5,250,000	国債受取利息
有価証券運用収益	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	6,705,000	1,820,000	4,885,000	
(2)経常費用				
①事業費	4,465,000	5,165,000	△ 700,000	
役員報酬	3,150,000	700,000	2,450,000	
給料手当	0	2,500,000	△ 2,500,000	
福利厚生費	50,000	600,000	△ 550,000	
臨時雇賃金	200,000	100,000	100,000	
旅費交通費	100,000	100,000	0	出張費
通信運搬費	20,000	20,000	0	
保険料	25,000	25,000	0	
消耗品費	100,000	150,000	△ 50,000	
修繕費	50,000	50,000	0	
印刷製本費	30,000	30,000	0	
燃料費	70,000	70,000	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
消耗什器備品費	10,000	10,000	0	
研修費	200,000	200,000	0	
広告費	110,000	110,000	0	
森林公園整備費	100,000	100,000	0	
苗木資材費	50,000	100,000	△ 50,000	
造林費	0	0	0	
立木生産費	0	0	0	
租税公課	150,000	250,000	△ 100,000	
雑費	50,000	50,000	0	

科 目	R8年度予算額 (A)	R7年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備考
②管理費	2,510,000	1,960,000	550,000	
役員報酬	1,050,000	150,000	900,000	
給料手当	0	850,000	△ 850,000	
福利厚生費	700,000	30,000	670,000	社保会社負担分
会議費	100,000	100,000	0	
旅費交通費	200,000	200,000	0	
通信運搬費	50,000	50,000	0	
消耗品費	10,000	10,000	0	
修繕費	20,000	20,000	0	
燃料費	20,000	20,000	0	
光熱水料費	50,000	50,000	0	
賃借料		120,000	△ 120,000	
消耗什器備品費	10,000	10,000	0	
租税公課	10,000	10,000	0	
保険料	30,000	30,000	0	
賃金	150,000	150,000	0	
諸会費	50,000	100,000	△ 50,000	
図書教育費	10,000	10,000	0	
雑費	50,000	50,000	0	
経常費用計	6,975,000	7,125,000	△ 150,000	
評価損益等調整費前当期経常増減額	△ 270,000	△ 5,305,000	5,035,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等	0	0	0	
当期経常増減額	△ 270,000	△ 5,305,000	5,035,000	
2.経常外増減の部			0	
(1)経常外収益			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用			0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 270,000	△ 5,305,000	5,035,000	
一般正味財産期首残高	△ 16,686,778	△ 11,381,778	△ 5,305,000	
一般正味財産期末残高	△ 16,956,778	△ 16,686,778	△ 270,000	
II 指定正味財産増減の部			0	
基本財産運用益			0	
特定財産運用益			0	
特定資産評価損益等			0	
一般正味財産への振替額		1,000,000	△ 1,000,000	
当期指定正味財産増減額		1,000,000	△ 1,000,000	
指定正味財産期首残高	828,941,368	840,323,146	△ 11,381,778	
指定正味財産期末残高	812,064,590	828,941,368	△ 16,876,778	
III 正味財産期末残高	812,064,590	828,941,368	△ 16,876,778	